第12回北海道空手道交流大会

～型試合要綱～

【試合形式】

1. 帯別によるトーナメント形式（３名の場合はリーグ戦）。
2. クラス分け及び指定、選択型は下表のとおり。
3. 各クラスともに指定、選択型を二人同時に行う。ただし、本戦での型で違う型を行う場合は白の選手から演じる。
4. 判定は３～５名の審判の旗判定で半数以上の旗が上がった選手の勝ちとする。
5. 予選引き分け延長の場合、他の型を行うこともある（行う型は主審裁量）。
6. 本戦引き分け延長の場合、他の型を行うこともある（行う型は自己申告）。
7. 延長は１回までとし、再延長は行わない。
8. ２名及び３名での出場の場合、初戦より選択型を行います。
9. クラス別の帯は申込み時点の帯とし、昇級により帯色が変わった場合は旧帯での出場とする。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 予　　選 | 本戦（準決勝・３位戦・決勝戦） |
| 白・ｵﾚﾝｼﾞ帯 | 太極Ⅲ | 太極Ⅲ・平安Ⅰ |
| 青　　　帯 | 平安Ⅱ | 平安Ⅱ・突きの型 |
| 黄　　　帯 | 平安Ⅲ | 平安Ⅲ・突きの型・最破 |
| 緑　　　帯 | 平安Ⅳ | 平安Ⅲ・平安Ⅳ・最破・撃砕大 |
| 茶　　　帯 | 平安Ⅴ | 平安Ⅳ・平安Ⅴ・撃砕大・撃砕小・十八・征遠鎮 |

【演武方法】

1. 白、赤の選手は試合場開始線前にて、正面、主審、お互いに礼をする。
2. 左右に分かれ主審が型の名を言った後「用意」「始め」の合図で開始し、「直れ」「休め」で自然体に戻る。
3. 選択型の場合の演武型が違う場合、一方の選手は試合場 場外で正座をして待つ。
4. 試合後開始戦に戻り旗判定を行う。
5. 判定後は正面、主審、お互いに礼をして退場する。

【判定基準】

1. 正確さ

挙動の順序、技・気合の脱落がないかを判定する。

1. 気迫及び力の強弱

組手に必要な気力、気迫、力強さが見られるか。

1. 技の緩急

型を行う上で動作一つ一つに減り張りがあるか。

1. 呼吸の調整

挙動を行うことで呼吸に乱れはないか。

1. 表現力

組手を型で表現するに当たり技の意味を理解し、演じることが出来ているか。